

2024年7月期 第2四半期

決算説明会

2024.3.21



【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。

これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

2024年7月期業績予想について

新価値創造を社会実装まで見据えた投資を開始する

(百万円)

	2023年 7月期	2024年7月期 前回予想	2024年7月期 今回予想
売上高	68,572	72,047	64,100
営業利益	3,610	3,338	2,700
経常利益	3,540	3,300	2,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,081	2,784	1,800

原材料調達難による製造遅延、広告宣伝の実施の後ろ倒し、顧客対応品質強化の優先による。
NEDO契約締結完了による研究開発費の増額。

株主還元


	2023年 7月期	2024年 7月期予想
一株あたり 年間配当金	22円	20円
配当金総額	6.3億円	5.7億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	30.8億円	18.0億円
配当性向	20.6%	31.7% ※
自己株式取得	3億円	10億円
総還元性向	30.3%	87.2% ※

※ 2024年3月11日発表の業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益に基づく

2024年1月
財務状況の改善及び適切な利益実現
の見通しを総合的に考慮し、株価が
ディスカウントされていると判断

株主還元方針

当社は、企業の成長性と収益性を両立させる事業方針の下、研究開発、広告宣伝及びM&A等に対する積極的な投資を拡大させながら、株主様に対する還元策として配当等を積極的に充実させていくことを基本方針としております。この方針の下、成長投資の推進、財務健全性の確保及び株主還元の強化のバランスを考慮し、自己株式取得を含む総還元性向20%を株主還元策の目安としております。



2024年7月期第2四半期 業績ハイライト

セグメント別ハイライト

	ポイント
連結業績	研究開発投資、新製品開発及び販売チャネルの開拓、組織体制の強化に引続き注力。BtoC事業の利益が前年同期比で大幅に増加、四半期での営業黒字が継続。
BtoB事業	機能性素材の売上高は、「ファーマギヤバ」の販売が国内外で好調に推移し前年同期比16.0%増。医薬品製造受託は、受注の安定と利益率向上を達成して前年同期比11.2%増。しかし「令和6年能登半島地震」により製品の出荷に影響が発生。
BtoC事業	生産委託先の稼働率低下や原料メーカーの出荷制限等による製造遅延が生じ、新製品の広告宣伝の実施が後ろ倒しとなる。既存製品は、法令改正への対応、広告品質の改善及びコールセンターでの対応品質向上の強化を最優先に推進。
バイオメディカル事業	自己免疫疾患の抗体創薬は、臨床入りに向け順調に進捗。「がん」や「線維症」等の各種難治性疾患においては、標的分子に対する抗体を取得・精製し、薬効薬理試験等を推進。
中期経営計画2026 新価値創造 1K	NEDOの「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトについて、NEDOと正式に契約締結。「繊維」、「アグリ」、「蓄電素子」の3分野の研究開発と並行して、早期の市場進出のため大手の最終製品メーカーと協議を進める。

連結売上高

(百万円)

	2023年 7月期第2四半期	2024年 7月期第2四半期	増減
BtoB事業	4,071	4,171	+2.5%
BtoC事業	30,923	27,353	▲11.5%
バイオメディカル事業	138	117	▲15.2%
その他	10	9	▲3.0%
合計	35,143	31,652	▲9.9%

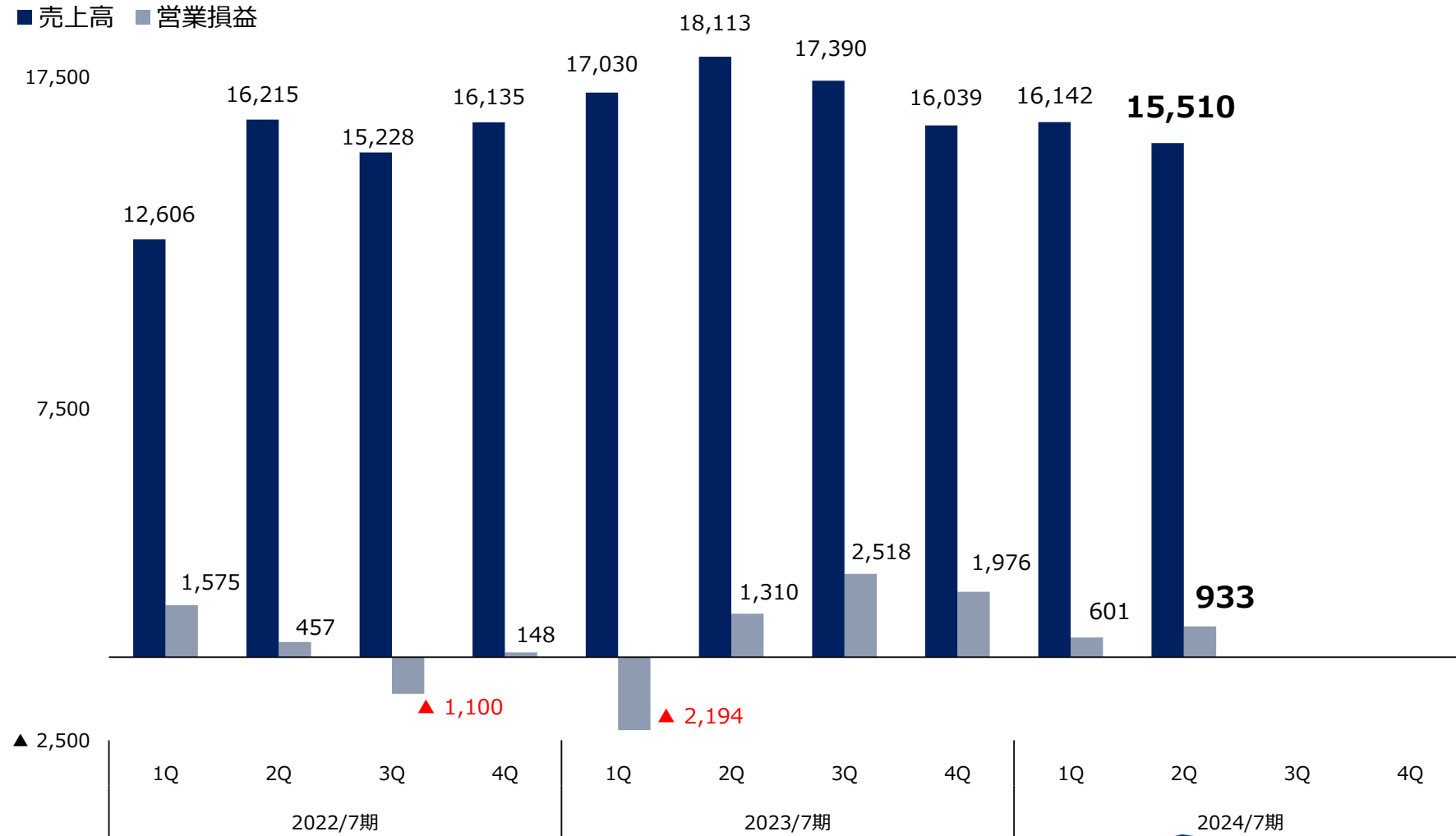
セグメント利益

(百万円)

	2023年 7月期第2四半期	2024年 7月期第2四半期	増減
BtoB事業	700	743	+6.1%
BtoC事業	▲857	1,732	+2,589
バイオメディカル事業	▲145	▲224	▲79
その他	▲1	▲8	▲6
調整額（全社費用等）	▲580	▲708	▲127
合計	▲883	1,535	+2,419

四半期連結業績推移

(百万円)



研究開発投資を拡大中も、引続き広告宣伝投資の適正化を実施、四半期での営業黒字が継続。



B to B 事業

アイテム別売上

(百万円)

	2022/7期					2023/7期					2024/7期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
機能性素材	252	431	391	633	1,708	375	440	564	620	2,002	504	441			946
機能性製品	252	169	242	261	925	289	484	449	145	1,368	199	172			372
CMO	-	1,672	948	1,021	3,642	892	1,104	1,076	1,117	4,190	1,151	1,068			2,220
CHC	-	869	466	465	1,801	312	172	294	78	857	377	254			632
合計	504	3,143	2,048	2,382	8,079	1,869	2,201	2,384	1,962	8,418	2,233	1,938			4,171

- ※ 機能性素材 : PharmaGABA、ボーンペップ等
- ※ 機能性製品 : OEM、越境EC、自社ブランド製品などの最終製品を主にBto[BtoC]チャンネルで販売
- ※ CMO (Contract Manufacturing Organization) : 医薬品製造受託機関
- ※ CHC (Consumer Health Care) : ドラッグストアでの医薬品及び機能性食品等の販売

機能性素材は「ファーマギヤバ」の販売が国内外で好調継続。医薬品製造受託は、受注の安定と利益率向上を達成。機能性製品・CHCは、流通チャンネルの拡大に注力。

「睡眠ラボ」新商品グランプリ2024年春夏 トレンド賞受賞



「睡眠改善」に「記憶力維持」をプラスした機能性表示ドリンク



<https://newgp.nippon-access.co.jp/>

コンビニ、ドラッグストア、量販店チャネルでの自社ブランド製品の営業活動を強化中

機能性表示食品受理件数

関与成分別受理件数ランキング

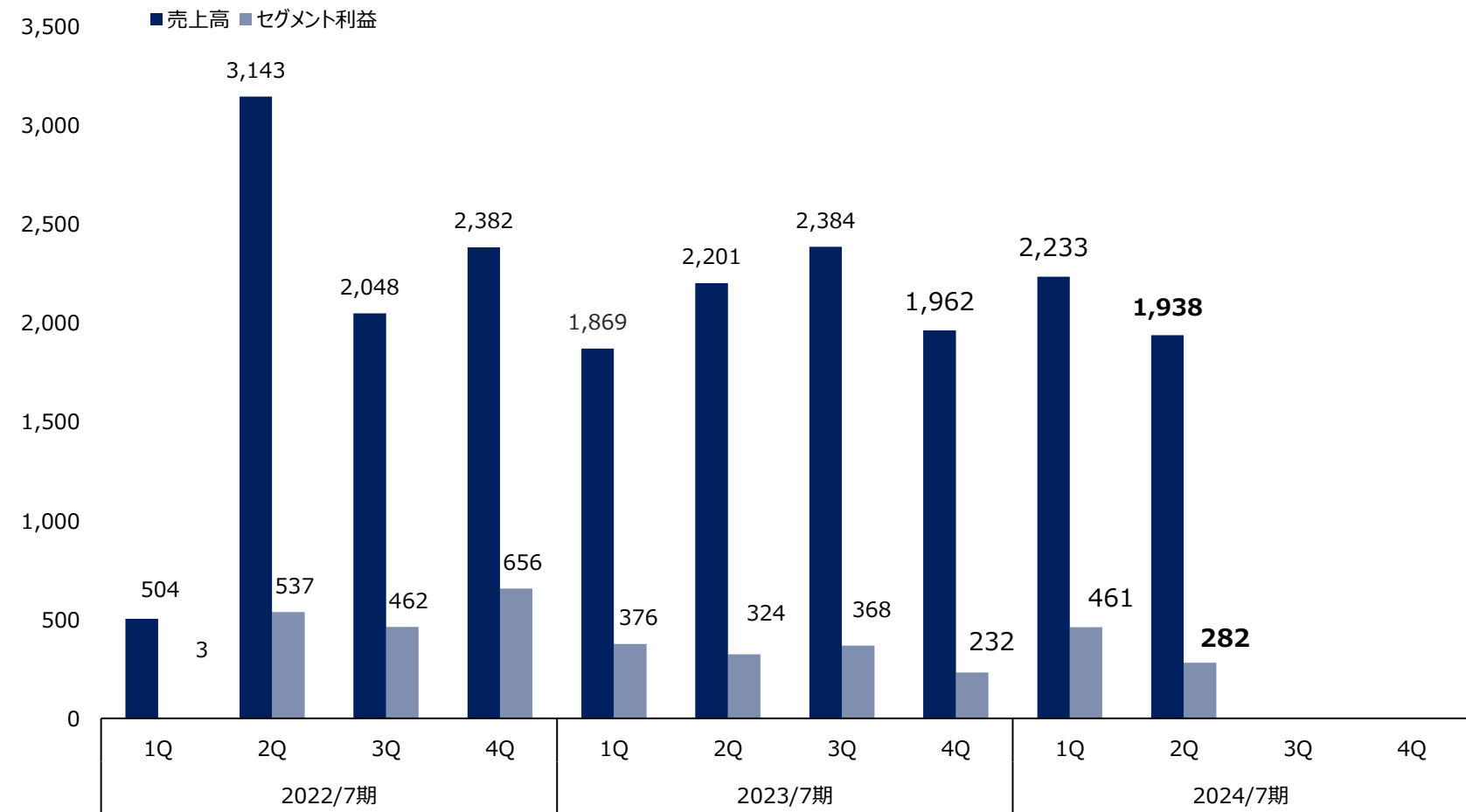
(件)

順位	機能性関与成分	受理数
1	GABA	1,086
2	難消化性デキストリン	497
3	ルテイン・ゼアキササンチン	425
4	ビフィズス菌	407
5	DHA/EPA	359
6	ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン	327
7	イチョウ葉 (フラボノイド配糖体、テルペンラクトン)	201
8	葛の花由来イソフラボン	176
9	アスタキササンチン	175
10	L-テアニン	158


2024.2.29 現在 当社調べ

四半期業績推移

(百万円)

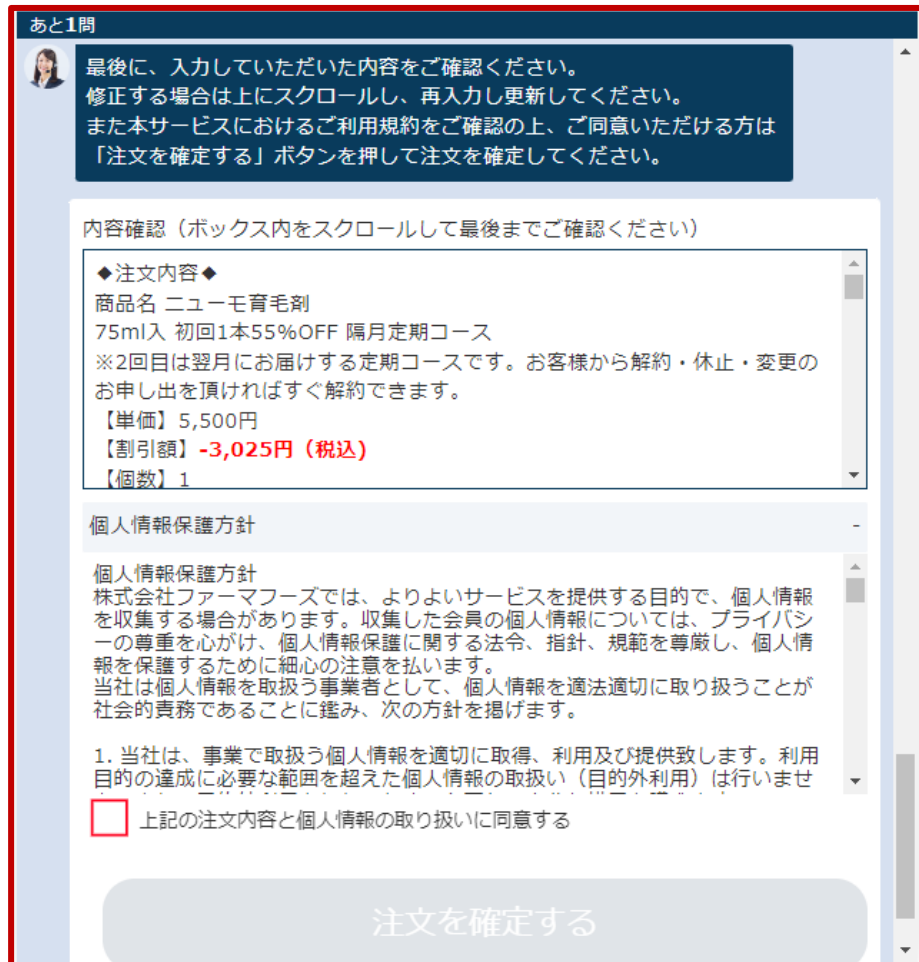


安定的な利益確保を継続も「令和6年能登半島地震」により、下期の製品出荷に影響が発生。自社ブランド製品拡大に向け量販店など販売チャネル開拓中。

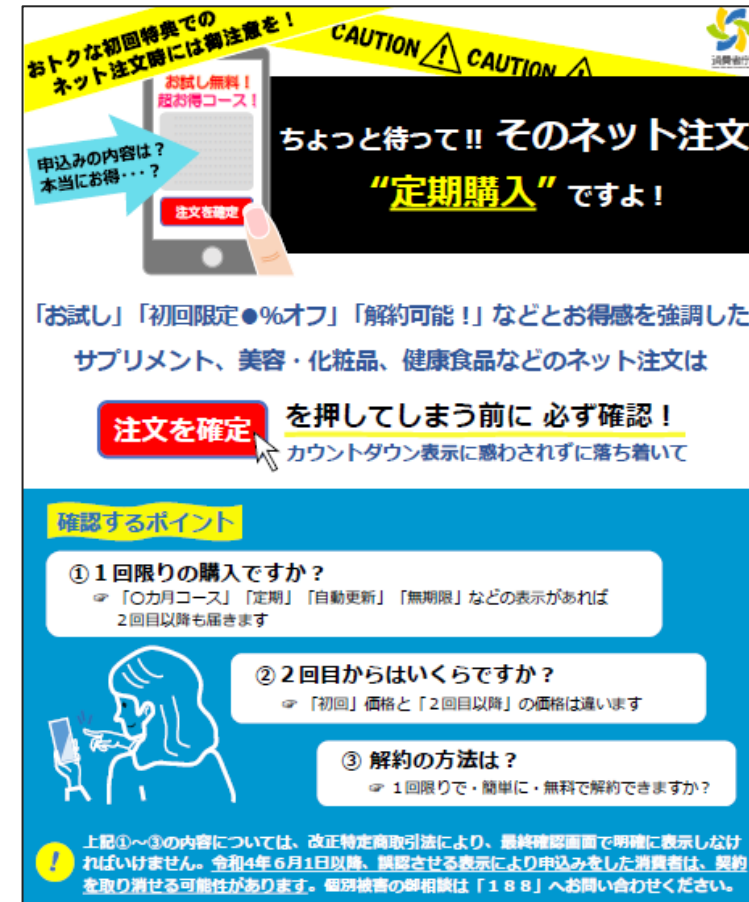


B to C 事業

法令改正に業界をリードして徹底的な対応



当社のWEB注文画面



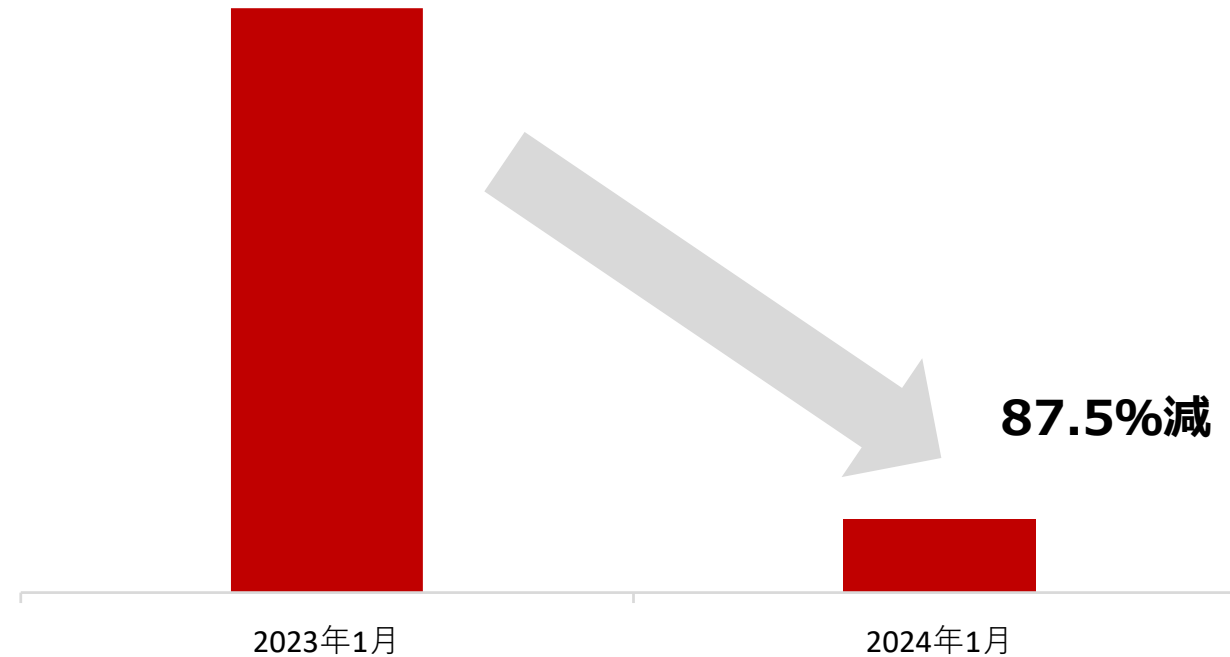
消費者庁による注意喚起

お客様に誤認を与えることのないように、最終確認画面において、徹底した説明を行う

応対品質の強化で、クレームゼロを目指す

(件)

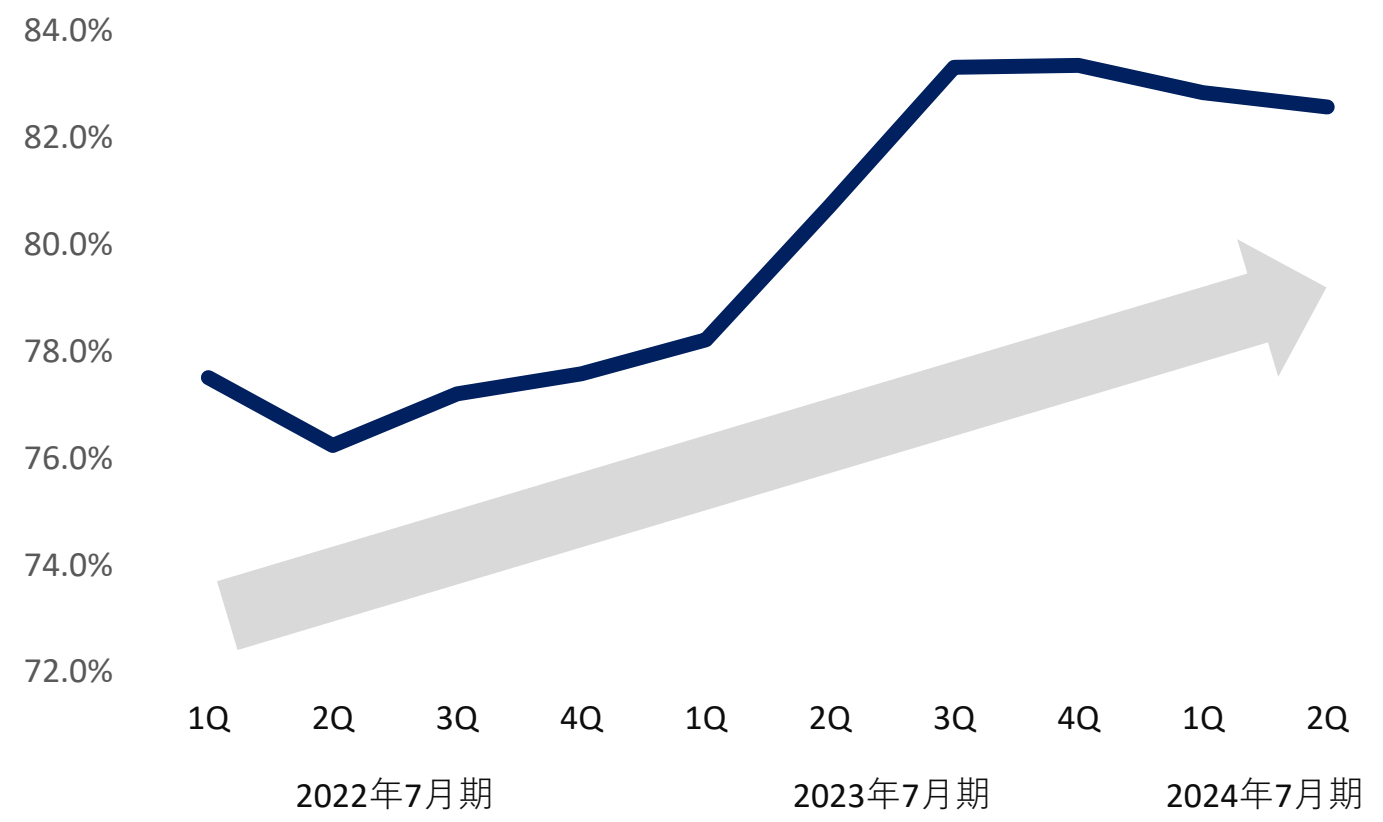
国民生活センターへの当社グループに関する相談件数



お客様との接点である「広告」及び「コールセンター」における説明の充実、応対品質向上を最優先に取り組む。

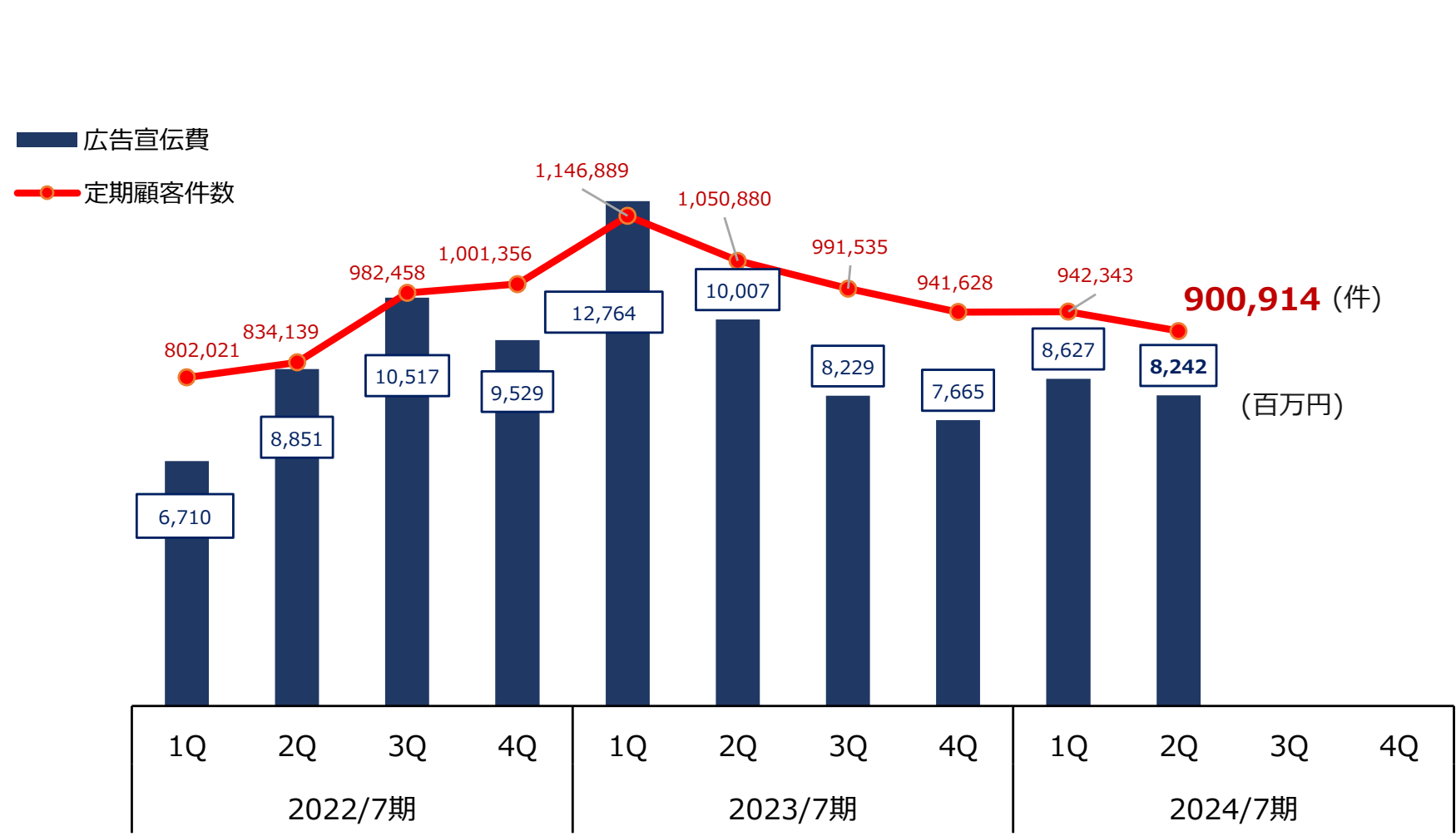
CRM施策に注力、既存顧客の離脱防止・再購入に取り組む

既存顧客向けの売上割合



CRM関連費用は上半期で943百万円、広告宣伝費全体の5.6%

広告宣伝費と定期顧客件数



主要製品の定期顧客件数

まつげ美容液	: 46,842
ランシェル	: 19,217
カラーシャンプー	: 22,815

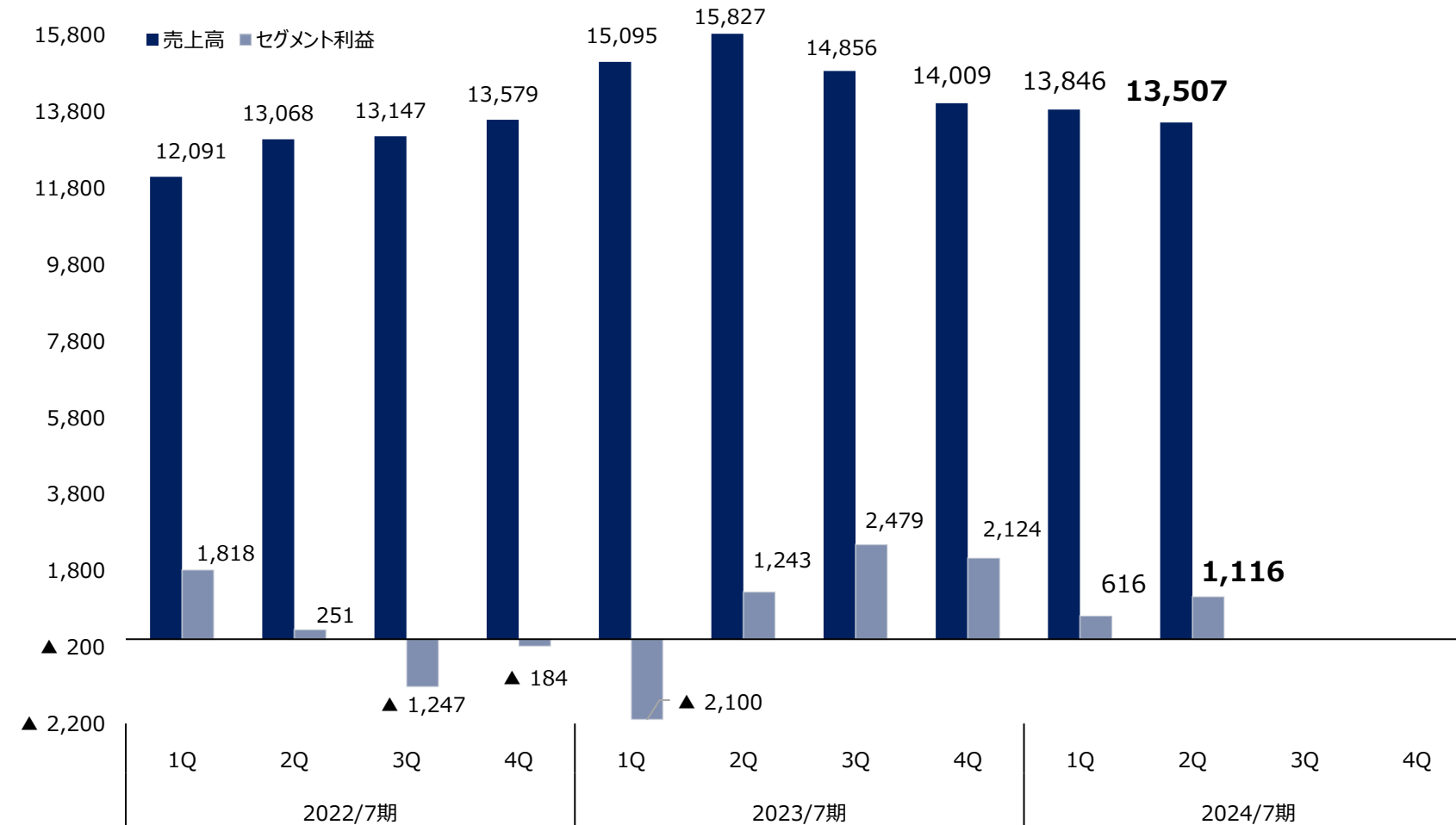
ニューモ育毛剤	: 391,083
ニューZ	: 11,507
キュラシリーズ	: 100,580
ラクトロン錠	: 55,233
防風通聖散 創至聖	: 29,178
ドンホワイドン	: 18,203

シボラナイト2	: 64,341
タマゴサミン	: 29,818

生産委託先の稼働率低下や原料メーカーの出荷制限等による製造遅延が生じ、「ニューZ」や「防風通聖散」の広告宣伝の実施が後ろ倒しとなった。

四半期業績推移

(百万円)



「ニューモ」ブランドの新製品へのプロモーションを開始。しかし、「ニューZ」は生産遅延で広告宣伝のタイミングが後ろ倒し。今期での収益貢献が限定的と見込まれる。

今後2年で50品以上の新製品を計画

(百万円)

NO.	明治薬品
1	傷跡修復に
2	進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎
3	イライラしがちな方に、更年期障害
4	食欲不振、疲労回復、口内炎
5	血圧や肥満に伴う動悸・肩こり
6	体力虚弱で、冷え症
7	免疫の維持+認知機能の維持
8	骨密度改善・骨の成分維持

NO.	明治薬品
9	滋養強壮、虚弱体質、肉体疲労の栄養補給の医薬部外品。
10	下肢痛、腰痛、しびれ
11	便秘薬
12	免疫の維持+アレルギー
13	免疫の維持+認知機能の維持
14	肌弾力を維持し、肌の健康に役立つ
15	月経不順、月経異常、月経痛など
16	3種のビタミンC

NO.	ファーマフーズ
	23件の新製品を計画

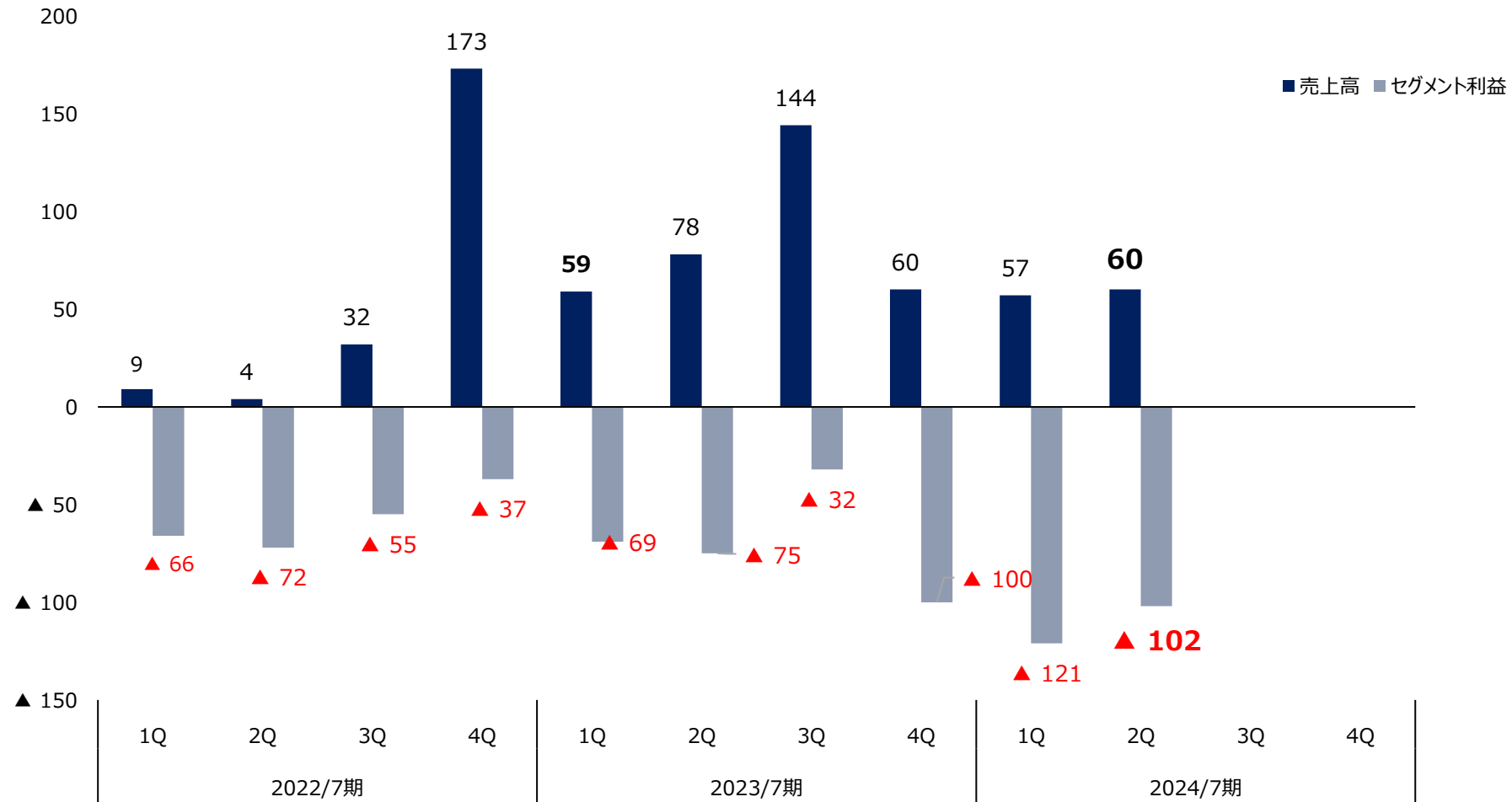
NO.	フューチャーラボ
	20件の新製品を計画



バイオメディカル事業

四半期業績推移

(百万円)



**自己免疫疾患の抗体創薬は、臨床入りに向け順調に進捗。
「がん」や「線維症」等の新たなパイプラインの研究に引き続き注力していく。**

中期経営計画2026の進捗について

中期経営計画2026

「新価値創造 1K」

プロジェクト

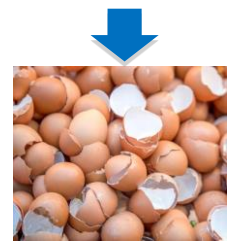
「バイオものづくり革命推進事業(NEDO※)」 契約

※ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

SDGsに貢献する卵殻膜の総合的活用プラットフォーム (5年間50億円超予算) を構築

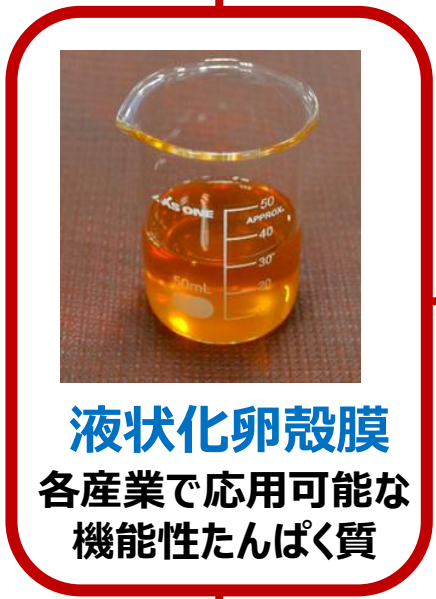


鶏卵263万t/年
(日本国内の鶏卵の年間生産量)



卵殻・卵殻膜
複合物
26万t/年

卵殻膜
1万t/年



液状化卵殻膜
各産業で応用可能な
機能性たんぱく質



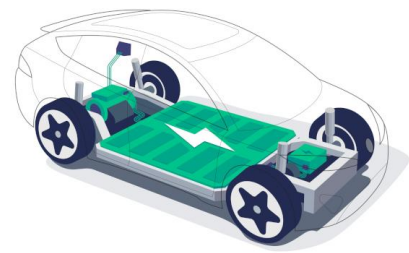
ハイブリッド繊維



卵殻膜繊維
ovoveil



卵殻膜ナノファイバー



電池素材



卵殻膜ペプチド



バイオ
スティミュラント

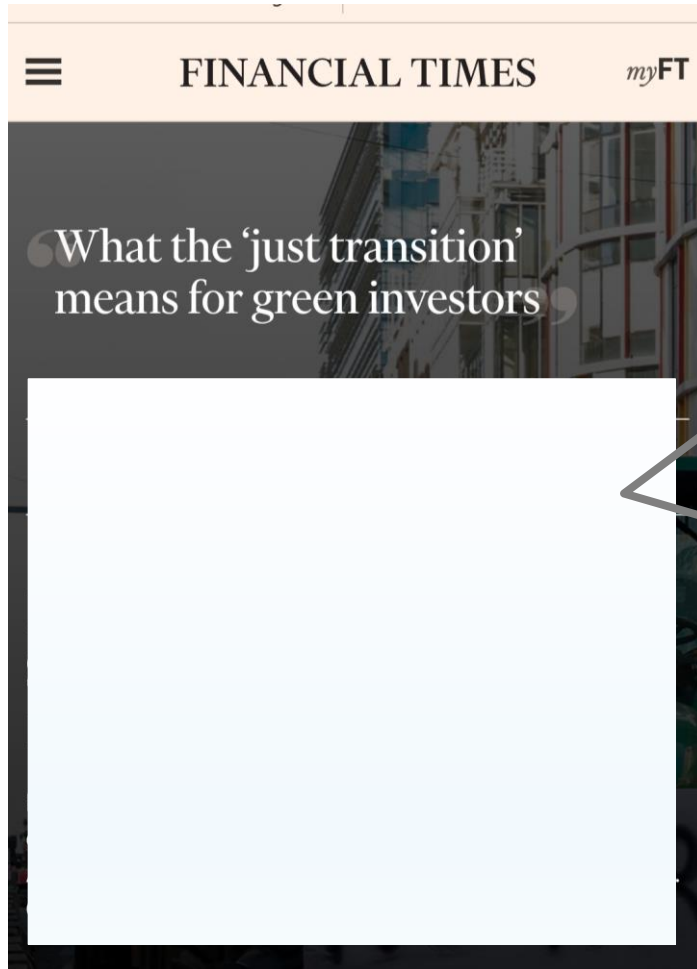
卵殻膜繊維- New York Fashion Weekに登場



動画はこちら

©土佐尚子（京都大学）

卵殻膜繊維 - Financial Times誌に掲載



" Artist and Kyoto University professor Naoko Tosa introduced a cape using sustainable fabric created from eggshellmembrane called "ovoveil". According to Kyoto-based Pharma Foods International, the creator of the fabric, in Japan alone 2.6mn tons of eggs are used annually and 10,000 tons of eggshell membrane go to waste.

Tosa said that ovoveil would also be used during the 2025 Expo in Osaka as staff uniforms. "

(Simon Mundy and Kaori Yoshida, Feb 21 2024, New York Fashion Week: is sustainability in style? , Financial Times)

当社製品としての販売や世界のアパレルメーカーへの素材販売に向け、試作と商談が進行中

東南アジア市場開拓

ベトナム



VEDAN Vedan Vietnam

ライスペロテイン、ライスペプチドの開発について協議

カンボジア



VATTANAC Vattanac Brewery

GABAを用いた商品開発について協議

タイ



ICHITAN Ichitan Group

GABAを用いた緑茶飲料の商品開発を検討

東南アジア地域の現地大手食品メーカーとの関係構築、商品開発を進める

アグリ事業-バイオスティミュラント

植物内生酵母



GABA発酵液



卵由来ペプチド



植物内生酵母”と“GABA発酵液”を農業法人向けに販売開始

【ミニトマト】

ロックウール栽培で 収量8%増加。 23年秋冬（三重）




臨床試験（Phase 1）に向けた準備が順調に進む

田辺三菱製薬との独占的ライセンス契約

「ALAgene テクノロジー」による自己免疫疾患治療を目指した抗体医薬

- ✓ 非臨床試験（各種毒性試験等）
- ✓ 治験薬製造
- ✓ 臨床試験デザイン

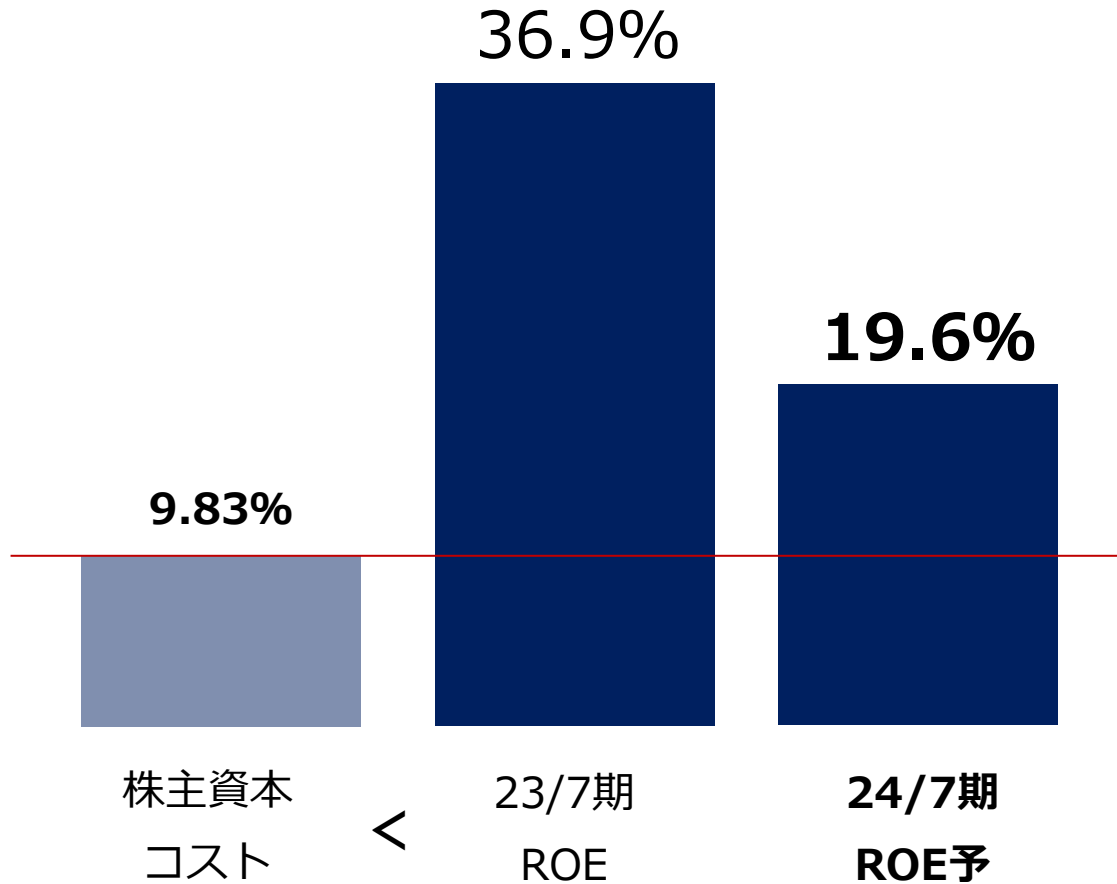




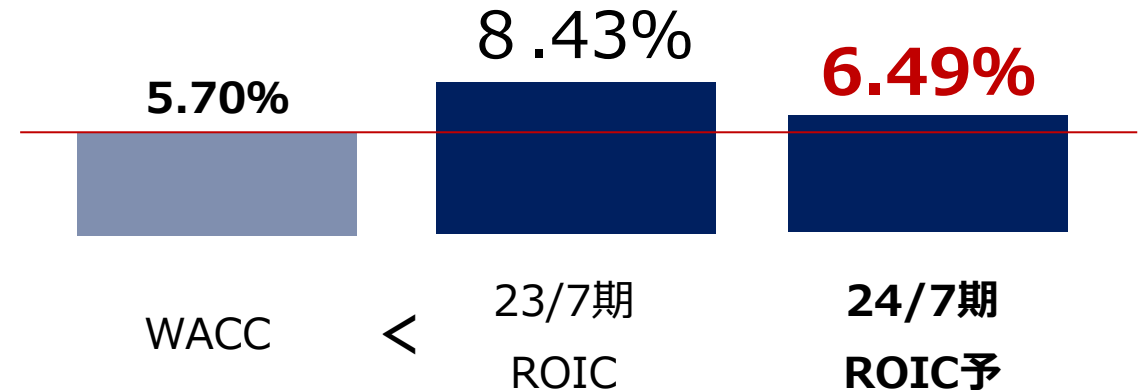
資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

1.現状評価①資本収益性

ROE

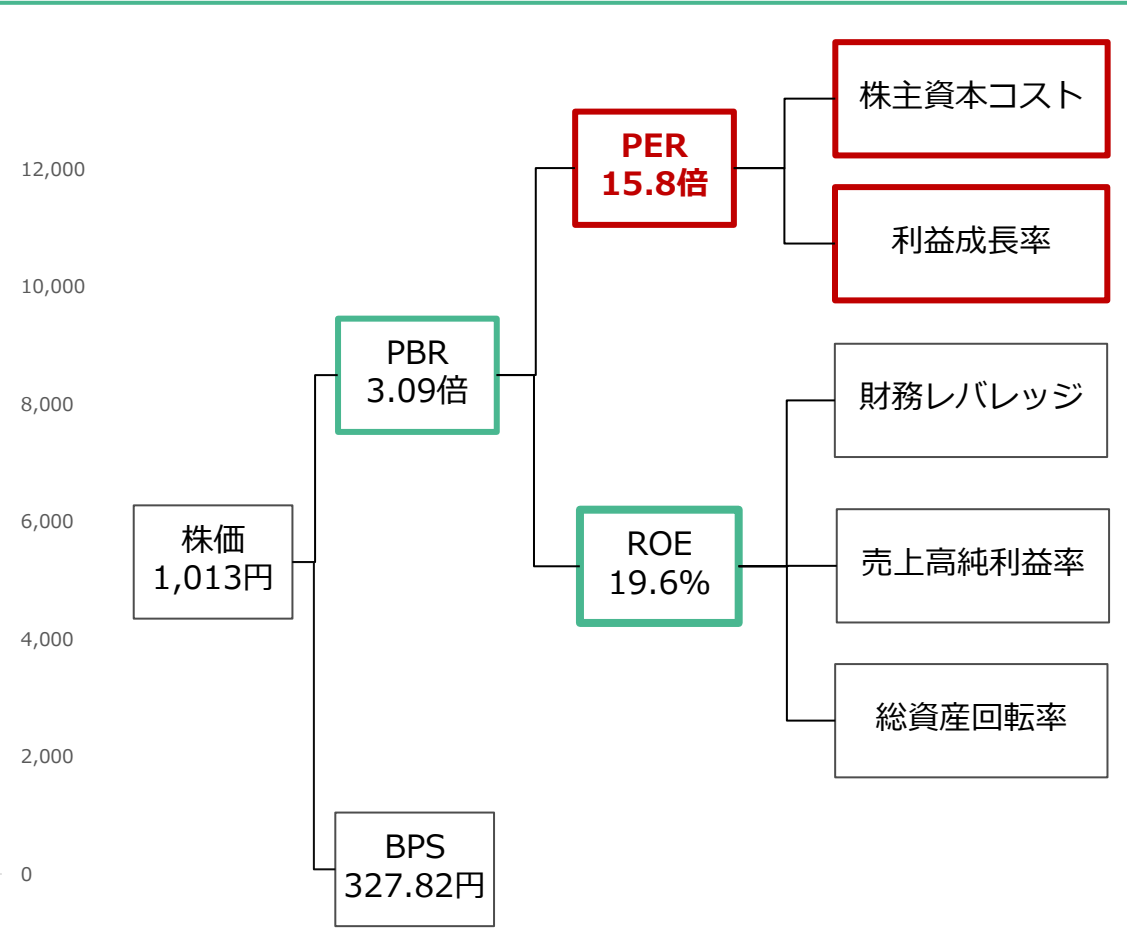
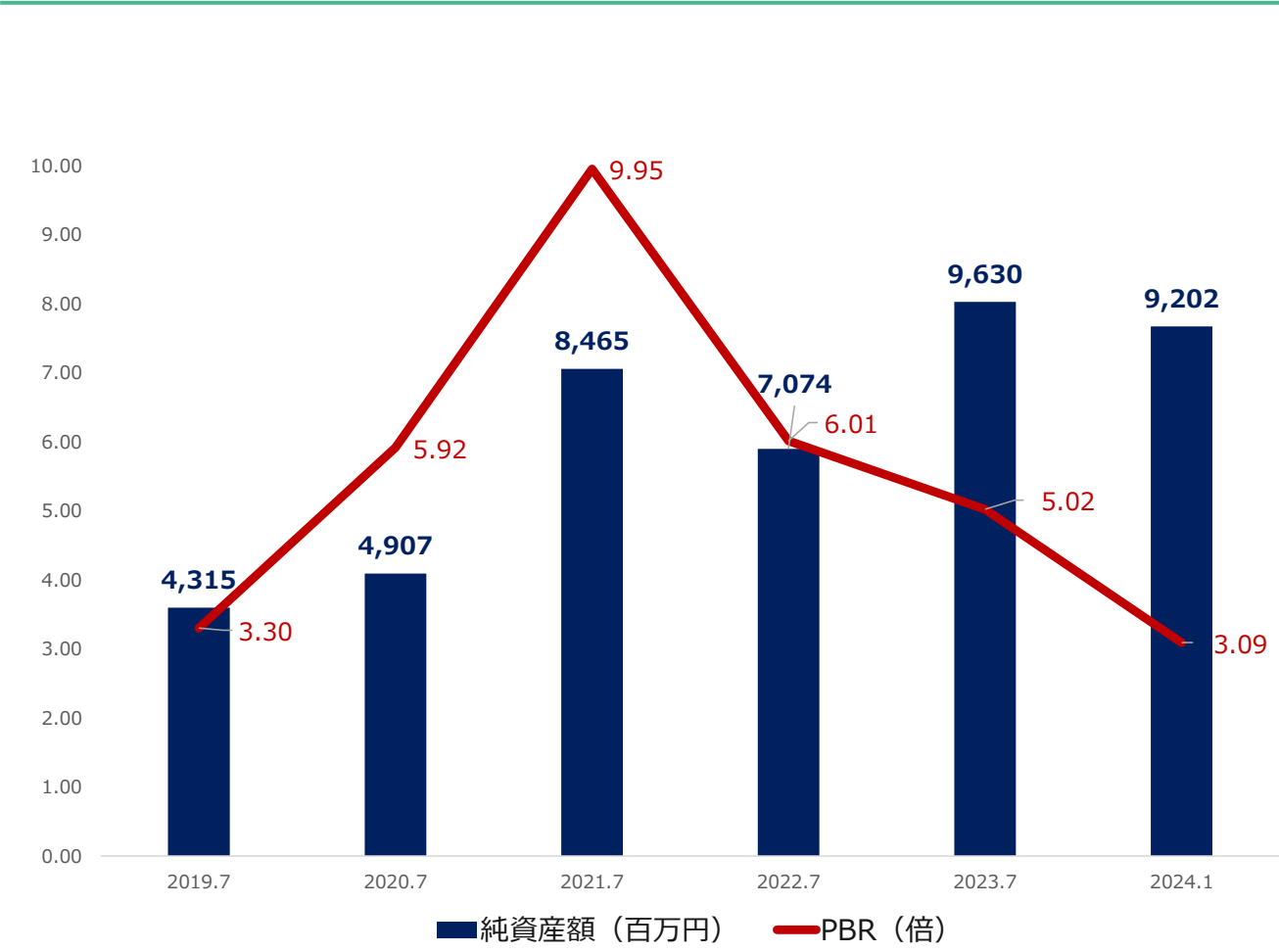


ROIC



ROE、ROICともに資本コストを上回るが、ROICには改善余地がある。

1.現状評価②PBR

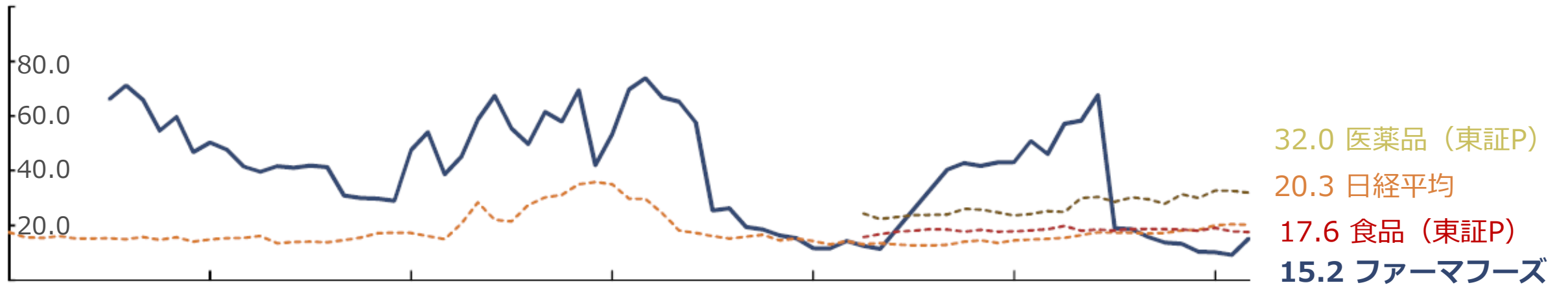


※株価は2024年1月31日現在
 ※指標は2024年1月31日残高を基準
 ※利益率は通期予想値

資本収益性は比較的高い水準だが、株価上昇のためにはPERを再度高めていく必要がある

1.現状評価③PER

予想PERの推移



出所：SMBC日興証券

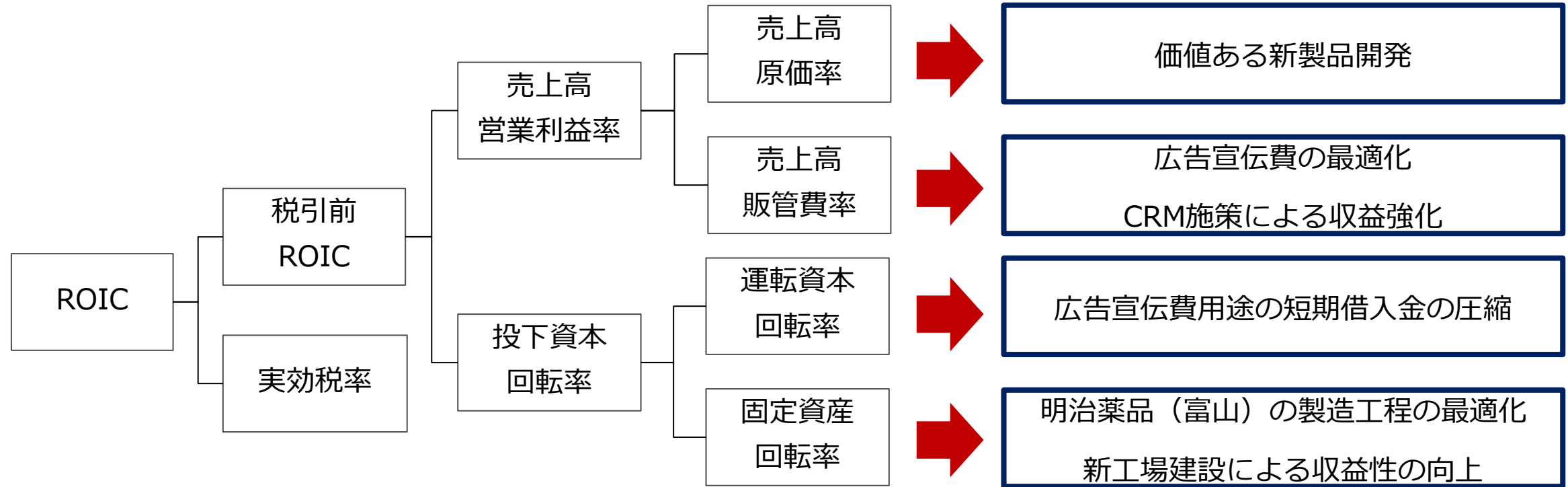
PERは過去レンジで低位となっているため、将来の利益成長が期待される事業の育成及び市場との対話を行う

2. 企業価値向上に向けた取り組み方針

	方針
ROICの向上	資本収益性を高める財務バランスの追求
	顧客基盤を活かしたCRM施策の強化による収益獲得
株主資本コストの低減	新規事業の育成及びM&Aによる事業ポートフォリオの再構築
	市場との対話機会の増加及び非財務情報開示の充実
成長期待を高める	研究開発投資、設備投資、人的資本への投資を増加させる
	M&Aを活用しながら、ヘルスケア企業としての評価を高める

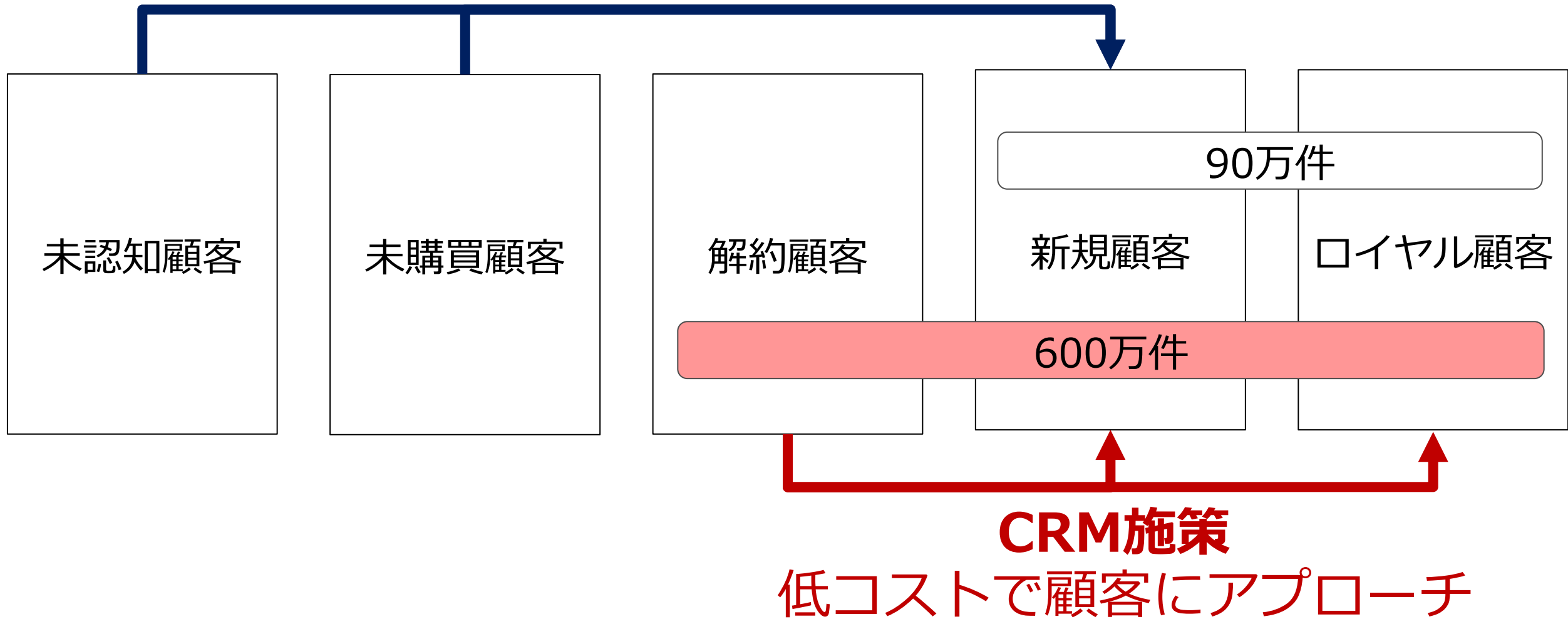
資本収益性を高める財務バランスの追求

ROICのさらなる向上を目指す



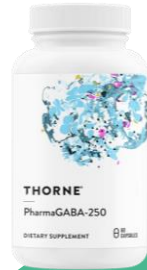
顧客基盤を活かしたCRM施策による収益強化

広告投資 (WEB、TV、紙媒体)



新規事業、新製品の育成による事業ポートフォリオの再構築

GABAをベースにした製品・市場の創造で100億円の柱を作る



市場との対話機会の増加及び非財務情報開示の充実

個人投資家、機関投資家との対話

■ IRフェア

当社を未認知の個人投資家へのアプローチ

■ オンライン事業説明会

各事業にフォーカスした既存株主への説明

■ スモールミーティング

創薬など専門性が高い分野の事業説明

■ 開示資料の英文対応

海外投資家による当社事業への理解を深める

ESG取組みへの理解

■ サステナビリティ説明会

未利用資源のアップサイクルなど、本業で既に行っているながら、市場へ浸透していない取組みを紹介

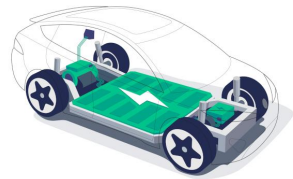
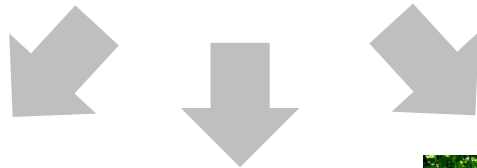
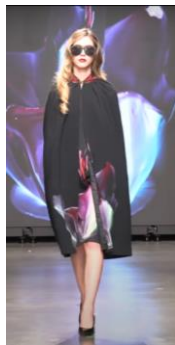
■ ESGスコア

FTSE Rusell ESG Rating **2.5**以上目標

指数採用によるパッシブファンドへの組み入れを目指す

研究開発投資、設備投資、人的資本への投資を増加させる

卵殻膜の総合的活用プラットフォーム 5年間50億円超の事業計画



自社製品の製造拡大を見越して年間80億円超の 新工場建設を計画中（明治薬品・富山）



新工場建設を計画中



医薬品製造受託及び自社通信販売向けに収益力の高い工場を建設する

M&Aを活用しながら、ヘルスケア企業としての評価を高める

M&Aのソーシングをさらに増加させる



M&A方針

FY2023/7	2件
FY2024/7 2Qまで	3件

- 売上高：30億円～200億円
- 業種：ヘルスケア関連
- 目的：製品ラインナップ拡充
- ：販売チャネルの獲得